

学びの杜通信



第43号 平成30年6月11日発行

校内研修を支援します **支えます**

総合教育センターでは、校内研修のサポートを行っています。センターの職員が学校にうかがって、できるだけ学校の実情に応じた内容で、校内研修の充実のためのアドバイス等を行います。今回は、研修部、教育相談部が行う校内研修支援の内容を紹介します。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/03koshihaken/index.html>



～研修部から～

研修部では、学校組織マネジメント、危機管理、授業研究など、組織力の向上や授業力向上に向けたワークショップスタイルの研修メニューをそろえ、校内研修の支援を行っています。

研修メニュー、実施時間、主な内容については、センターWebサイトに掲載しています。具体的な内容や進め方については、御依頼いただいた学校の先生と相談しながら決めていきます。学年、教科単位など、少人数の研修の支援も受け付けています。お気軽に御相談ください。

【問合せ先】研修部 (TEL 028-665-7202)

| 校内研修支援のメニュー例 (小・中学校向け) | | | |
|---|-----------------------------|-------------------|---|
| 栃木県総合教育センター-研修部 | | | |
| A 組織力の向上のために | | | |
| No. | テーマ | 研修の 所要(分) | 主な内容 |
| 1 | 学校組織 マネジメント とは | 30 ? 60 | 組織としての第一歩を踏み出そう ・学校組織マネジメントとは ・学校組織マネジメントの典型を取り入れる |
| 2 | 学校の教育目標 をよりよく実現 するために | 60 ? 120 | 学校の教育目標に照らした教育活動の評価と改善を考えよう ・学校教育目標に照らして子どもの成長を評価する ・目標の達成と改善策を検討し優先順位を付ける ・重点分野の教育評価の発見し(次年度に向けて) |
| 3 | 教職員の 危機管理意識を 高めるために | 60 ? 120 | 学校の危機を全教職員で見直すことで、 組織としての危機管理能力を高める ・危機管理意識を高める ・体験型授業を行う |
| 4 | 地域と学校で 子どもたちを 育てるために | 60 ? | 学校・地域で、子どもたちを育てよう(保護者・地域と一緒に) ・本校の特色や子どもの強みとは ・学校で取り組める学校の強みとは ・地域・家庭、学校それぞれの役割を考えること |
| 5 | 小集団の活性化 を組織に生かす ために | 60 ? 120 | 同僚性を学校力の向上に生かそう ・教科(学年)単元計画づくり ・学年・教科のつながり ・懇話会、ペラランの活用を組織に生かす ・組織としての発見し(次年度に向けて) |
| B 授業力の向上のために * B-№2, №3, №4は、授業研究の時間を強めます。 | | | |
| No. | テーマ | 研修の 所要(分) | 主な内容 |
| 1 | 授業づくりの 工夫 | 60 ? 120 | 自信をもって授業に取り組むために、事前研究を工夫しよう ・授業づくりへの取り組み(注目として、学年として、別班別として) ・学校課題や組織単位から考える授業改善の課題 ・ポイントを絞った授業の比較 |
| 2 | 同僚性を高める 授業研究会 | 90 ? 120(要) | 教科・学年の特性を生かして授業研究会をやってみよう ・学年・教科の特色を生かす、授業を共有するポイント ・ワークショップ型授業研究会を通して ・自分の授業改善につなげるために |

↑ Webサイトに掲載している
校内研修支援のメニュー例一覧表

～総務部から～

県立学校では、4月27日付けで学校安全課から送付された通知「危機管理に関する校内研修の実施等について」により、今年度から3年間、危機管理に関する校内研修を毎年1回以上実施することになっています。

当センターでは、各学校が危機管理に関する校内研修を実施するに当たり、研修の講師として指導主事を派遣し、校内研修支援を行います。御希望の学校がありましたら、お気軽に御連絡ください。

【問合せ先】総務部 (企画調整担当) (TEL 028-665-7200)



～教育相談部から～

6月に入り、児童生徒の様子もよく見えるようになってきた一方で、指導・支援について苦慮することもある頃ではないでしょうか。

例えば…

- 最近、欠席、遅刻が増えてきた生徒がいる。
- クラス内に「いじめ」があるのではないかと心配している。
- 発達障害のある児童生徒への対応のヒントが欲しい。
- 児童生徒同士の関係づくりを支える取組を試みたい。 など



教育相談部では、児童生徒への具体的な指導・支援を一緒に考えさせていただきます。また、各学校で以下のような内容で校内研修を実施する際には、教育相談部の指導主事が出向き、講話や演習などを行うことができます。お気軽に御相談ください。

- ◇ 事例検討会（Q Uを用いた事例検討も含む）
- ◇ 講話（いじめ、不登校、特別支援教育、自立活動など）
- ◇ 演習（アサーショントレーニング、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポートなど）



【問合せ先】 教育相談部（TEL 028-665-7210, 7211）

研修について問合せ先が分からない場合などは、総務部企画調整担当まで、お気軽にお問い合わせください。【問合せ先】 総務部（TEL 028-665-7200）

平成30年度教育相談特別講座 育てます

今年度は、目白大学人間学部 黒沢 幸子 特任教授をお招きして、悩みや不安、課題を抱える子どもへの教員のかかわりについて、子ども自身ももつ「自分はこうありたい」というイメージを大切にするという視点から考えます。

- | | | | |
|---|------|---|--|
| 1 | テ | マ | 見方を変えると子どもが変わる ～「解決志向」で子どもにかかわる～ |
| 2 | 日 | 時 | 平成30年8月7日（火） 9:30～16:00 |
| 3 | 会 | 場 | 栃木県総合教育センター 大講義室 |
| 4 | 対 | 象 | 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校教職員 及び教育関係者 |
| 5 | 募集定員 | | 400名 |
| 6 | 申込方法 | | 各学校で取りまとめの上、下記のWebサイトからお申し込みください。 |
| 7 | 締切 | り | 平成30年7月31日（火） |

今回のテーマにある「解決志向」の考え方では、子ども自身のもつ資源（リソース）や、課題を解決する力を活かしながら“ゴール”や“解決像”を子ども自らが描けるように支援します。この考え方は、子どもを肯定的にとらえることにもつながり、日常の学校生活の中で大いに役立てられることと思います。多数の御参加をお待ちしています。

→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2018/tokubetsu_koza.htm



教職員サマーセミナー受講生募集中！

育てます

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。昨年度受講者からは好評を博しました。今年度は2講座を増設し全14講座を開設します。各講座とも宇都宮大学（峰キャンパス）において9時30分から16時までとなります。

講座案内

- 宇都宮大学教職センターのWebサイト
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php>
- 栃木県総合教育センターのWebサイト
<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>
に掲載されています。

申し込み方法

- 宇都宮大学教職センターWebサイトからお申し込みください。
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php>
締め切り 平成30年7月6日（金）

その他

- 宇都宮大学及び総合教育センターから旅費の支出はありません。また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もありますので、御承知おきください。
 - ①このセミナーは中堅教諭等資質向上研修の選択研修の対象にもなっています。
 - ②定員を超えた場合は、先着順とします。
 - ③会場の宇都宮大学（峰キャンパス）には自家用車で入構できます。アクセス及び構内案内は、宇都宮大学Webサイトで確認してください。

問合せ

- 宇都宮大学教職センター 地域連携部門 TEL 028-649-5272

| 番号 | 実施日 | 講座名 | 分野 | 講師 | 定員 | 対象校種 |
|----|----------|----------------------------------|---------|----------------|------|-----------------------|
| 1 | 7月23日(月) | 特別支援教育におけるICF支援シート活用 | 特別支援教育 | 池本喜代正 | 50名 | 小・中・高・特 |
| 2 | 7月24日(火) | 教師も楽しむ理科実験 | 理科教育 | 南 伸昌 | 24名 | 小・中・高・特 |
| 3 | 7月27日(金) | 高校のアクティブ・ラーニング実践報告 | 授業方法 | 皆川 純男 | 50名 | 中・高 |
| 4 | 7月27日(金) | 発達障害児へのアセスメントと個別支援 | 特別支援教育 | 原田 浩司 | 100名 | 小・中・高・特 |
| 5 | 7月30日(月) | しみじみとする授業：子ども達がつながる深い学習 | 授業方法・分析 | 溜池 善裕 | 50名 | 小・中 |
| 6 | 8月 2日(木) | 授業研究の運営と課題 | 教職大学院 | 松本 敏 人見 久城 | 15名 | 小・中・高・特 教職5年以上の経験者 |
| 7 | 8月 3日(金) | 学校改革の実際と課題 | 教職大学院 | 小野瀬善行 | 15名 | 小・中・高・特 教職5年以上の経験者 |
| 8 | 8月 6日(月) | 発育期における体育・スポーツ指導のあり方 | 保健体育 | 加藤 謙一 | 20名 | 小・中・高・特 |
| 9 | 8月 6日(月) | 「現実の世界」との対話を大切にした算数・数学の授業づくり | 数学教育 | 川上 貴 | 20名 | 小・中 (数学科) |
| 10 | 8月 7日(火) | 障害状況にある子どもを理解すること—教育的係わり合いからの検討— | 特別支援教育 | 岡澤 慎一 | 30名 | 小・中・高・特 |
| 11 | 8月 8日(水) | 体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし(その5) | 保健体育 | 茅野 理子 | 30名 | 小・中・高・特 |
| 12 | 8月 9日(木) | 教師のためのやさしいプログラミング | 情報教育 | 川島 芳昭 | 25名 | 小・中・高・特 |
| 13 | 8月 9日(木) | 国語教育の仕事 | 国語教育 | 飯田 和明 | 16名 | 小・中・高・特 |
| 14 | 8月16日(木) | 「特別の教科 道徳」の授業の教材と発問 | 学校教育 | 和井内良樹 上原 秀一 | 100名 | 小・中 |

授業に役立つ「教材研究のひろば」

支えます

広がります

当センターのWebサイト内にある「教師のための教材研究のひろば」には、各学校段階・各教科等の学習指導案、ワークシート、動画などを掲載しています。校種・学年・教科・キーワードをもとに、簡単に検索ができます。授業づくりなどに、是非、御活用ください。

当センターのWebサイトのバナーからお入りください。

栃木県内の学校における **教育実践に関する資料を提供**

教師のための
教材研究のひろば



こちらからもWeb
サイトに入れます。→



充実の **1800** コンテンツ

学習指導案

| 別紙 S (6) 展開 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) | 資料等 |
|----------------|--|---|--|---|
| | | ◎人権教育上の配慮 ※研究課題との関連 ◎生かしたい生徒への支援 | ☆努力を要する生徒への支援 | |
| 5 | 本時の学習内容を理解する。 古代とはどのような時代か考えよう | ・新時代での学習の流れを簡単に確認し、本時のねらいを知る。 ・古代の動向について確認する。 | | |
| 15 | 古代についての事前学習の結果をもとに古代を代表する人物・出来事・文化の3項目にあたって発表する。 | ・新時代に行った古代についての事前学習「古代といえはこれだBEST 10」を提示し、本時の活動への意欲を高める。 ・3つの項目(人物・出来事・文化)にこの「BEST 10」のキーワードを時代ごとに書かせる作業を通して、古代という時代を大體させることにつなげる。 | | ・資料集 ・教科書 ・ワークシート ・ワークシート ・グループ |
| 20 | 2つの活動の結果を参考に、古代とはどんな時代だったかを話し合う。 グループで話し合い意見をまとめる。 班組でまとめた意見を発表し合う | ・「古代とはどんな時代か」という課題について個人でワークシートにまとめさせる。その際、「新時代と比較してあるなど」考え方のヒントを添える。 ・各組のまとめをもとに、グループの話し合いをさせる。 ◎グループ内の役割分担を決め、全員の見解が尊重されるように助言する。 ※話し合い活動を行うことで、コミュニケーション能力の育成を図る。 ◎話し合いに積極的に参加している態度をほめ、評価を認める。 ・話し合いにまとめた意見を黒板に貼らせて発表させる。歴史的な認識をさらに深められるよう、発表の際に、そのようにまとめた理由も発表させる。 ◎各組の発表については、お互いの発表を尊重して聞きかえるように配慮する。それぞれの視点で選んだまとめ方であってもそれぞれ独自の考えを認め合えるように助言する。 | ・古代の特色を多面的・多角的に考察し、話し合いによって時代の特色を大きく捉えまとめられている。(発表・評価) ・ワークシート結果や資料集、教科書などを参考に自分の考えをまとめるよう助言する。 | |
| 10 | 本時の感想をワークシートに記入す | ◎自分の活動振り返り、他の組の発表などを参考にしたりしながら、本時の感想を書かせ本時で学んだことを確認させる。また古代という時代についての自分の考えを深めさせる時間とする。 | | ・学習振り返りシート、自分の考えを深められることのできる。(ワークシート) 各組の生徒の発表を聞かせ参考にさせる。 |

ワークシート



動画



動画をダウンロードしてタブレットで持ち運べば、体育館や校庭など、ネットワークに接続できない場所でも視聴できます。

コンテンツは自由に加工できます。他にもさまざまなコンテンツがあります。

単元の指導計画

実践の様子

配付資料

等

【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)

センターのWebサイト (TOP画面) を御覧ください

研修開催に関するお知らせ

これから雨の季節を迎えます。大雨や台風などにより研修日程の変更を余儀なくされることも予想されます。「明日(今日)の研修は予定どおり実施されるのだろうか」と御心配の折には、当センターのWebサイトから開催情報を御確認ください。

「研修開催に関するお知らせ」は、原則として、**前日の最終更新は18:00頃、当日朝の更新は6:00頃**です。

お弁当の販売に関するお知らせ

Webサイト (TOP画面) にある下のアイコンをクリックすると、お弁当の販売がある日を確認することができます。原則として、その月の最後の週に、次の月の予定を掲載します。



栃木県総合教育センターのお弁当販売日について (詳細はこちら)



アン

シン